



今、伝えたいこと ～ 情報共有の大切さ ～

あけましておめでとうございます。「乙巳」に当たる2025年は、「努力を重ね、物事を安定させていく」といった縁起の良さを表している年とのこと。努力が報われる1年にしたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は新紙幣の発行やパリ五輪、大谷選手の活躍等、明るいニュースもありましたが、やはり印象に残っているのは能登半島や宮崎を襲った地震・豪雨等の「災害」です。弊社所在地である福岡市は警固断層帯の真上に位置しており、また福岡県では2017年(平成29年)以降5年連続で大雨による災害が発生しています。昨今は台風だけでなく、線状降水帯の発生にも敏感に反応するようになりました。弊社では災害発生時の対策として、社員一人一人に防災リュックとヘルメットを配付、ヘルメットには名字と血液型を明記して非常時に備えています。ただ、幸いなことに何事もなく年月が経過、リュックの保存食等の賞味期限が間近に……！ 近々、非常時の保存食とはどのようなものなのか、を確認する意味も含めて社員で試食会を行い、防災リュックの中身について改めて見直したいと思っています。

さて、一昨年から取り組み始めた意匠・構造両設計部門の設計会議。各案件の問題提起とその解決の場、法的な事項の注意喚起の場として設計に関する情報を共有することで、各自および会社としての設計スキルの向上を目指しています。この取り組みが上手く作用して欲しいものです。業務における得手不得手を自身で把握し、それを社員同士相談することにより自分なりの対処方法を習得しつつあるのでしょうか。昨年は特にマネジメント力が必要とされる難しい案件が多かったのですが、上からの指示がなくとも自ら率先して動く若い社員の姿を見て、成長を実感した1年でした。私も社員と一緒に業務に専念しています(笑)。今年は前年の経験を活かし、更なる飛躍を遂げてくれると信じています！



★傳設計に昼が来たー！★

岩本 茂美 (いわもと しげみ) 株式会社傳設計 代表取締役



《最近のこと》 若い社員の頑張りを目の当たりにし、改めて「働きやすい職場環境」を調えなければ！という思いを強めています。1年の計は元旦にあり。公私ともに無理なく実行できるような目標を立てたいと思っています。まずは何をやるにも体が資本。運動・食事に加え、今年もストレッチ専門店で足繫く通う予定です。そろそろ体力作りのためにジムにでも……と思案中。

★冬季インターンシップのご案内★

設計に興味のある学生さんのインターンシップを募集いたします。

対象は2026年卒ですが、ご希望があれば2027年卒予定の方も受け入れます。時期は2025年2月3日(月)～2月28日(金)の間で、1～3日の短期から1週間程度の中期まで、ご要望に応じてカリキュラムをご用意できます。インターンシップではRevitに触れていただき実践的な設計を体験していただきます。期間中はなごみ食堂のランチを提供いたします。ランチタイムには実際の業務に携わる社員との交流もあります。まずは、ご相談ください。

本年度のインターンシップの詳しい内容や学生さんの感想などは、HPの採用ブログで紹介しています。ご興味のある方はあわせてご覧ください。

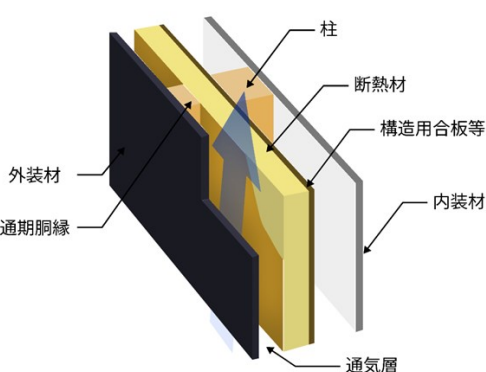


(堀越)

★木造戸建住宅の耐震対策セミナーを行いました★

こんにちは。田中です。

前回「木造住宅の耐震対策」についてお話をさせていただきましたが、先日その内容のセミナーを行いました。その中で頂いた質問をいくつかご紹介したいと思います。



★壁の断面イメージ★

Q: 図面がないが耐震診断をしてもいいことは可能なのか。

A: 図面がない場合でも、専門家がご自宅の実際に拝見させていただき、図面を作成して耐震診断を行うことが可能です。

Q: 構造用合板などは、腐朽や劣化を考慮すると何年くらいで交換時期にくるのか。

A: およそ30年ほどと言われています。

ただし、外部環境等により湿気が多かったり、通気性が悪い場合は、耐用年数は短くなります。構造用合板は壁の中に施工されていますが、基

本的には湿気を逃がすための通気層が設けられています。

Q: 天井点検口、床下点検口がないが現地調査の部材確認はどのように行うのか。

A: 和室の畳をはがす等、一部ご自宅に手を加えさせていただき、部材の確認を行います。

確認後は復旧を行い、元の状態に近づけます。

その他、ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

(田中)

NEW&HOT

設計業務 TOPIX

4月に入社し、あっという間に新しい年を迎えました。入社する前は、傳設計の一員となることに楽しみよりも不安の方が多くありましたが、たくさんの方々に支えられ、実り豊かな9か月を過ごすことができました。

業務としては、まずはRevitの基本操作に慣れるところから始まり、夏頃には図面の修正ではありますが、Revitでの作図を行いました。最近では、実施図面の作図を行ったり現地調査に同行したりしました。図面の作図では、最初は自分が図面を書いてもよいのかという不安もありましたが、任されたことに責任を持ち作図に取り組んでいます。図面に記載すべきことは多くあり、法規や開口部の納まり、仕上げる種類など学ばべきことが多岐に渡ると改めて感じ

ます。図面を作図していく中で、分かりやすい図面の表現方法も学ぶことができました。

また、現地調査では実際に目で見ることによって多くの気づきがありました。学生の頃は、デザイン重視で建物を捉えていましたが、現地調査では建物の劣化状況や階段の寸法など細かなところを見ます。先輩と共に調査をする中で、私が目にも留めなかったところを先輩は着目していて、そこを見るのかと勉強になります。今までとは異なった視点から建物を見たり、物事を考えたりすることが大切だと感じました。日頃から視野を広げて様々なことを吸収していきたいと思っています。

日々の業務を通じて、設計の大変さ難しさを実感するとともに、分から

なかったことが理解できるようになったときにとても嬉しく感じます。今はまだまだ分からないことだらけですが、これから様々な経験をして知識を増やしていき、学んだことを実践していきたいと思っています。お客様からも社員の皆さんからも信頼される設計士になれるよう日々精進してまいります。



(設楽)

★ 1 年目の仕事について ★

★勉強会を開催しました★

12月4日～18日にかけて、設計協力を依頼している企業様による勉強会を開催いたしました。今年度は、三和シャッター工業株式会社様、YKK AP株式会社様、太陽工業株式会社様の3社にご協力いただき、弊社からは若手の社員が参加いたしました。

専門業者の方から最新の技術や商品について説明がありました。社員達は聞きたいことを直接聞ける機会とあって、大変充実した時間となったようです。年末のお忙しい中ご協力いただきました皆さまに感謝申し上げます。

(松尾)



★三和シャッター工業株式会社様★



★YKK AP株式会社様★



★太陽工業株式会社様★



「想い・安全・未来をカタチに」
株式会社 傳設計
DEN ARCH. & ENG. OFFICE

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-6-13 舞鶴DSビル
TEL: 092-737-1500 (代表) / FAX: 092-737-1501
URL: <https://www.dens.co.jp/>
E-mail: dens@dens.co.jp